

授業科目	*看護のための臨床検査					実務家教員担当科目	○				
単位	1	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	高橋 甲枝、中原 智美、財津 倫子										
授業概要	<p>実務家教員として、臨床の場で看護師経験を有する教員が看護に必要な臨床検査について講義・演習を行います。</p> <p>臨床検査は、診断の確定、重症度の判断、治療効果の判定などのために行われます。</p> <p>検査の目的、実施法、看護上の注意点について、検査内容と疾患のつながりを系統別に解説していきます。</p> <p>これらの検査で得られたデータを用いてアセスメントするための能力を養ない、疾患および薬剤使用との関係を学んでいきます。さらに、心電図などの演習で看護師役・患者役を体験することで、患者への説明や心理面に配慮した看護について学んでいきます。</p>										
授業形態	対面授業			授業方法	グループワーク、Classroom を利用した自主学習支援（講義開始前試験・小テストをGoogleフォームで実施、講義開始前試験結果の解説・共有）						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な検査の目的と意義を説明できる(DP1-2)。 2. 主要な検査実施時の看護師の関わり、注意点を述べる事ができる(DP1-2、2-1)。 3. 事例を用いて検査結果のアセスメントができる(DP1-2、2-1)。 4. 体験をとおして患者の心理を理解し、看護師の声かけ、配慮について述べる事ができる(DP1-2、2-1)。 5. 主要な臨床検査の目的、実施法、データの意味、看護の注意点を理解し、患者に説明できる(DP1-2、2-1)。 										
理想的レベル	<p>標準的なレベルに加え、検査データを的確にアセスメントし、検査データから患者の病態を正しく把握して看護診断を考えることができる</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合（数値）				備考					
試験		58%									
小テスト		30%									
レポート		12%				検査時の看護 看護師・患者体験レポートにて評価する					
発表（口頭、プレゼンテーション）		0									
レポート外の提出物		0									
その他		0									
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU11111J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
当該部分の予習と復習										1	
講義開始前に検査値の基準値についての試験を行います。											

講義後に小テストを行います。小テスト後はテキスト等にもどり、振り返りを行います。	
授業計画	
第1回	<p>テーマ：臨床検査の意義と目的（高橋）</p> <p>臨床検査の目的と意義、臨床検査の流れ</p> <p>臨床検査の種類</p> <p>基準値と異常値</p>
第2回	<p>テーマ：血液学的検査と一般検査（高橋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液学的検査（血球算定、生化学、ホルモン、腫瘍マーカー、免疫、感染症など） ・一般検査
第3回	<p>テーマ：画像検査（外部講師）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射線を用いる検査、MRI、核医学検査
第4回	<p>テーマ：病理学的検査と乳腺外科系検査の看護（高橋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病理学的検査 ・マンモグラフィー、エコー検査、細胞診・針生検、CT、MRI
第5回	<p>テーマ：消化器系検査（財津）</p> <p>消化管の検査（画像、造影検査、内視鏡検査、超音波検査（エコー））</p>
第6回	<p>テーマ：循環器系検査（財津）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像、ECG[モニター、12誘導、ホルター]、エコー、心臓カテーテル検査
第7回	<p>テーマ：呼吸器系検査（財津）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像、呼吸機能検査（スパイロメトリー、動脈血ガス）、気管支鏡検査、胸腔穿刺）
第8回	<p>テーマ：検査時の看護 看護師・患者体験①（財津、中原、高橋）</p> <p>第8回と第9回は連続して行う。</p>
第9回	<p>テーマ：検査時の看護 看護師・患者体験、まとめ②（財津、中原、高橋）</p>
第10回	<p>テーマ：内分泌・代謝系検査（中原）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液検査〔ホルモン血中濃度、血糖値、75g OGTTなど〕
第11回	<p>テーマ：脳神経系検査（高橋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳脊髄液検査、脳血管造影、CT、MRI、脳波
第12回	<p>テーマ：整形外科系検査（高橋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・X線検査、CT、MRI、骨シンチグラフィー、骨密度
第13回	<p>テーマ：血液内科系検査（中原）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血球検査、出血傾向、骨髄穿刺検査、輸血のための検査
第14回	<p>テーマ：腎・泌尿器系検査（中原）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像、エコー、膀胱鏡検査、生検
第15回	<p>テーマ：皮膚科・耳鼻科・眼科系検査（中原）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー検査、聴覚検査、視覚検査、眼底検査など
テキスト	<p>藤田浩（監）：見てできる臨床ケア図鑑 臨床検査ビジュアルナーシング. 学研メディカル秀潤社 系統看護学講座 成人看護学 2.3.4.5.6.7.8.9.11. 医学書院</p>
参考図書・教材/データベース・雑誌等の紹介	<p>系統看護学講座 臨床検査. 医学書院</p> <p>系統看護学講座 成人看護学 10.12.13.14. 医学書院</p> <p>野崎真奈美（監）：成人看護学 成人看護技術 改訂第3版. 南江堂.</p>

	講義では、資料プリントを配布します。また、随時、参考図書について提示します。
課題に対するフィードバックの方法	成績発表後に、評価点分布図を掲示します。 小テストは途中で評価点分布を掲示します。
学生へのメッセージ・コメント	これまで学んだ、看護形態機能学、疾病学、基礎看護学での知識を整理してから授業に臨んでください。 病態を理解するためには、臨床検査のデータを根拠として考えることが必要になります。 授業では教科書を使った講義とともに、検査の様子を動画で学習します。 また、心電図、尿検査、呼吸機能検査の演習をとおして、看護師として患者への説明を実践したり、患者役の体験をしたりすることで患者への心理的な配慮を学んで欲しいと考えています。但し、看護師・患者体験①②は、実習室の都合などで、授業の順序の変更、補講日に実施することがあります。日時については授業中にお知らせします。 講義はシラバスに沿って行いますので、該当する箇所を予習するとともに、講義後は配布資料なども用いて復習をして下さい。 2年生後期より、さまざまな領域の方法論においても疾患の診断に必要な検査を学びます。その際は、テキストにもどり、確認することで理解が深まります。 積極的な姿勢を期待します。

